

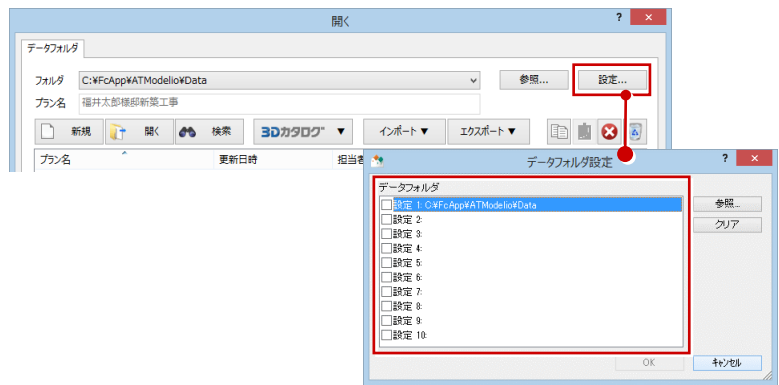
ARCHITREND Modelio Ver.4 の新機能

| 処理メニュー | |
|--------------------------------------|---|
| データフォルダの登録数を5から10に拡張 | 1 |
| グリッド分割数を6から10に拡張 | 1 |
| 3Dカタログ.comのライセンス契約が終了した後のCAD機能制限を見直し | 2 |
| 用途地域に「田園住居地域」を追加 | 2 |
| 敷地 | |
| 敷地の三斜入力に対応 | 2 |
| 敷地座標入力のmm単位入力に対応 | 3 |
| 敷地外構移動の拡張 | 3 |
| 敷地外構回転の建物辺指定に対応 | 3 |
| 敷地辺を指定して方位マーク入力できるように対応 | 3 |
| 部屋 | |
| 平面図で天井高、床高増減の表記に対応 | 4 |
| 建具・部品 | |
| 引込戸の表現に対応 | 4 |
| 枠のないドアや引戸の立体表現に対応 | 4 |
| 建具一括入替に対応 | 4 |

| 建具・部品 | |
|----------------------------------|---|
| 建具の記号を表示できるように対応 | 5 |
| 部品の部分伸縮に対応 | 5 |
| 部品・建具のテーブル表示に対応 | 5 |
| 建材の一覧画面ですべて表示できるように対応 | 6 |
| 内部・外部 | |
| ロフトコマンドを追加 | 6 |
| 外部・内部手摺の「点線表現」に対応、コーナーの取合いの属性を拡張 | 6 |
| ベランダ入力時に手摺シンボルとして配置できるように改良 | 7 |
| 押入段・ハンガーパイプのコマンドを分割 | 7 |
| 画像・確認 | |
| ロフトの数量が拾えるように対応 | 7 |
| プレゼンボード | |
| プレゼンボードの一括連動時に既存の画像も再作成できるように対応 | 7 |
| プレゼンボードを10枚から50枚に作成可能に対応 | 8 |
| 棟面積表に施工床面積を表示できるように対応 | 8 |

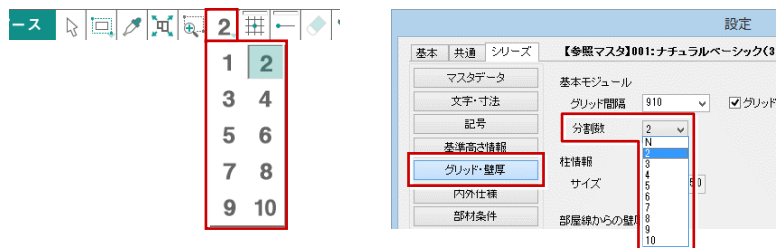
データフォルダの登録数を拡張

これまで5個だったデータフォルダの登録数を10個まで登録できるように対応しました。より多くの場所に保存できるようになります。



グリッド分割数を6→10に拡張

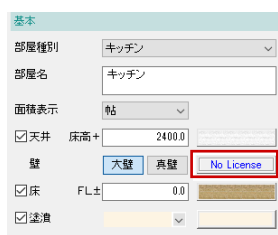
これまで6分割だったグリッドの分割数を10まで設定できるように対応しました。細かなデータも補助点なしで入力可能になります。



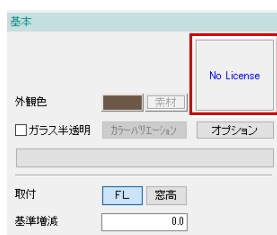
3DC ライセンス無効時の機能制限

3D カタログ.com の契約が終了した後の CAD 機能制限をみなおしました。これまでは契約が終了すると、配置済みの 3D カタログ建材の属性は参照できませんでしたが、参照可能になりました。また、ユニットを配置した場合にも建材が表示されるようになりました。ただし、属性を変更したり、建材を新たに配置することはできません。

旧バージョン



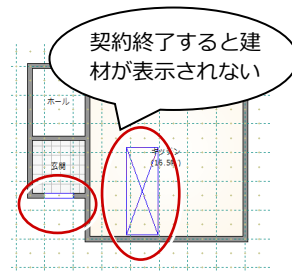
【素材】



【建具】



【部品】



【ユニット配置】

新バージョン



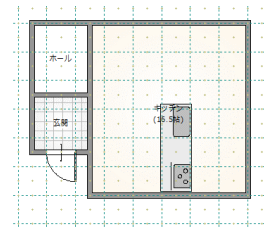
【素材】



【建具】



【部品】



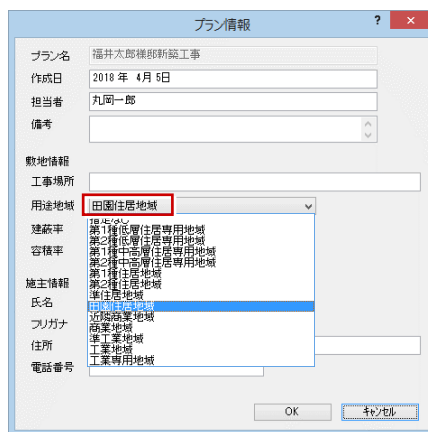
【ユニット配置】

用途地域に田園住居地域を追加

法改正により新設された用途地域の「田園住居地域」に対応しました。

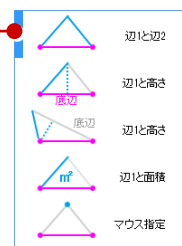
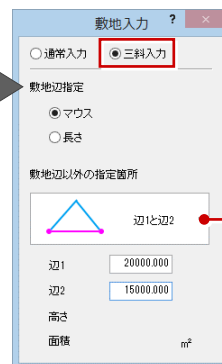
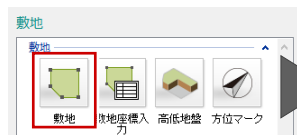
次の機能を追加しました。

- ・プラン情報の用途地域で「田園住宅地域」が選択できるようになりました。
- ※ プラン情報で「田園住宅地域」を指定して敷地を入力すると、初期値として取得されます。
- ・敷地のプロパティの用途地域で「田園住宅地域」が選択できるようになりました。



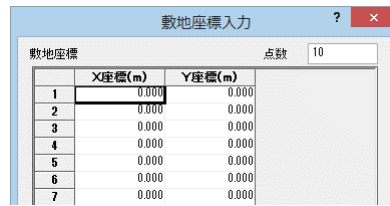
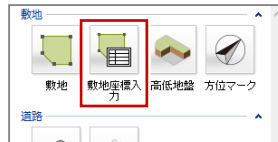
敷地の三斜入力に対応

三斜を使用した敷地入力ができるように対応しました。敷地入力ダイアログで「三斜入力」の選択が可能になり、既知の情報から入力タイプを選択して入力します。

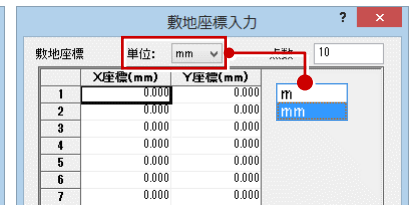


mm 単位の敷地座標入力に対応

敷地座標入力ダイアログに単位選択の設定を設け、mm単位の入力ができるように対応しました。



【旧バージョン】

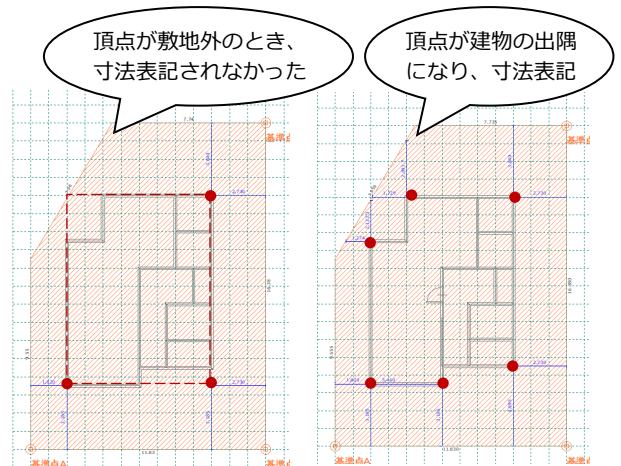
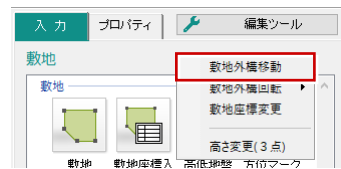


【新バージョン】

建物の出隅を頂点に敷地外構移動

「編集ツール」の「敷地外構移動」について、建物の頂点基準を、建物領域の出隅を頂点にしました。頂点が敷地外でも寸法表示されるようになり敷地外構移動がしやすくなります。

※「一括自動」の「建物位置寸法」も同様です。

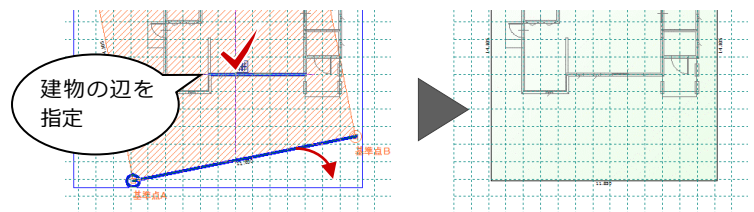
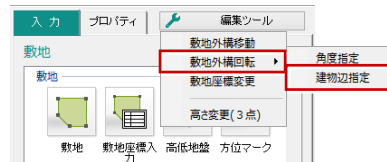


【旧バージョン表現】

【新バージョン表現】

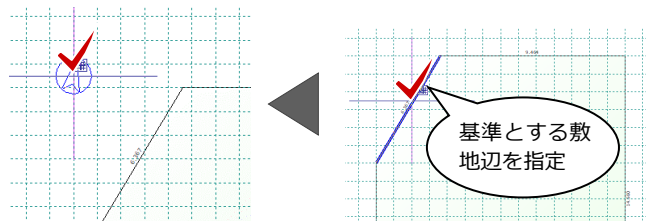
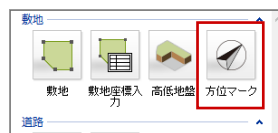
敷地外構回転の建物辺指定に対応

「編集ツール」の「敷地外構回転」に「建物辺指定」コマンドが追加され、建物の辺を指定して敷地や外構を回転できるように対応しました。



敷地辺を指定して方位マーク入力

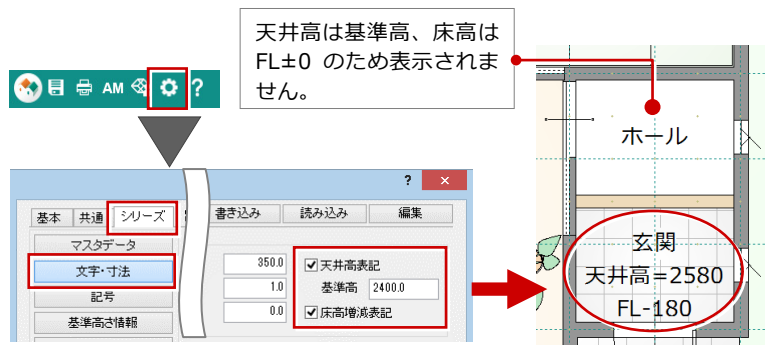
敷地辺を基準に角度を設定して、方位マークが入力できるように対応しました。



平面図で天井高、床高増減を表記

部屋の天井高、床高増減の表記に対応しました。「シリーズ設定-文字・寸法」で設定が可能です。

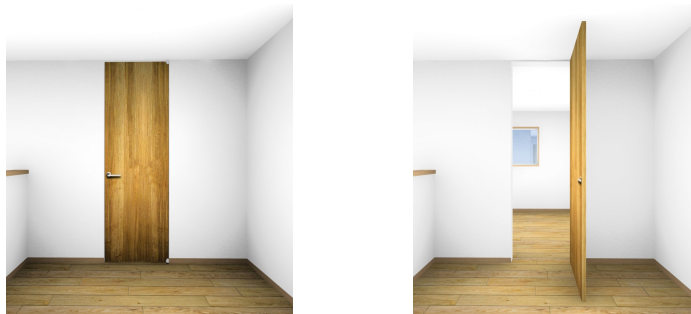
- ※ 天井高は「基準高」以外の高さの場合に表示します。
- ※ 床高は、FL を基準として「+」「-」で表示します。FL±0 以外の場合に表示します。



枠なし（隠し枠）ドア・引戸に対応

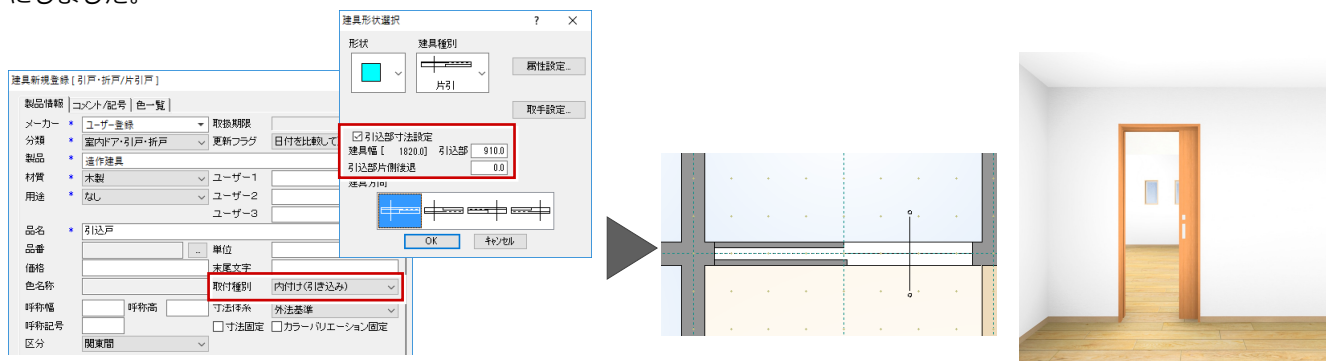
天井まで建具があるような、枠がないドア、引き戸に対応しました。枠なし表現が可能になり、パースの表現力がアップします。

- ※ メーカーから提供される建材のみ対応可能です。



引込戸に対応

3D カタログマスタで引込戸の設定が可能になりました。これにより、3D カタログマスタで作成した引込戸に対応できるようになりました。



【3D カタログマスタ】

建具一括入替に対応

配置されている AM 建具、3D カタログ建具を一括で特定シリーズの 3D カタログ建具に入れ替えできるようになりました。

ローカルの 3D カタログマスタに登録されていない建具は、3D カタログ.com からダウンロードして入れ替えることが可能です。

- ※ 3D カタログ.com の契約が必要です。

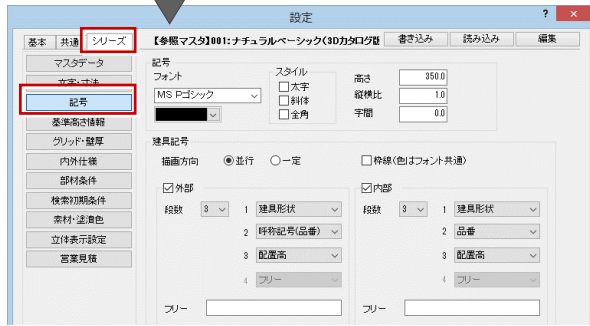


建具の記号を表示できるように対応

建具の記号として配置高や呼称、形状などが表記できるように対応しました。

「シリーズ設定」に「記号」のページが追加され、設定することで建具の記号表示が可能になります。

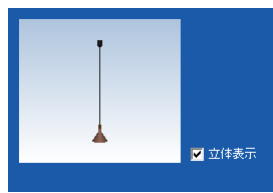
※ 設定を変更した場合や、入力済みの建具に記号を表示する場合は、建具の「編集ツールー建具記号再作成」から表示します。



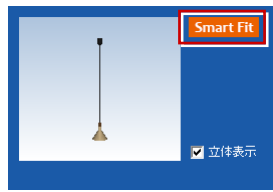
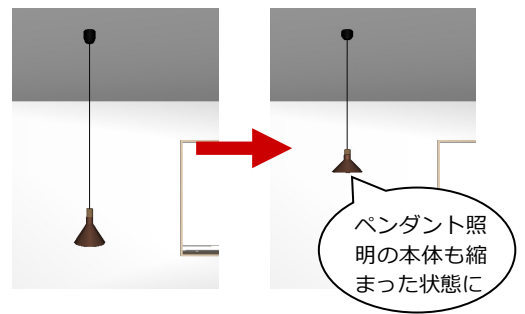
部品の部分伸縮に対応

部分伸縮部品に対応しました。属性変更でサイズを変えた時に、ペンダント照明のコード部分のみが伸縮します。

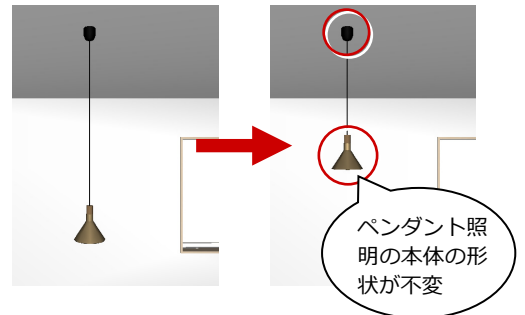
※ Smart Fit 部品のみ上記の表現が可能です。



【通常部品】

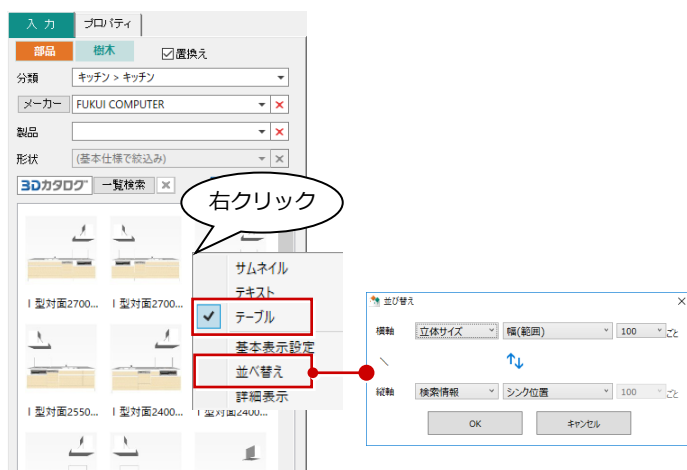


【Smart Fit 部品】



部品・建具のテーブル表示に対応

サイズや検索情報を利用して、自動テーブル表示に対応しました。オプション違いもまとめて表示することができます。



一覧で建材をすべて表示に対応

分類内をメーカーや製品を指定せず、すべて表示できるように対応しました。コンボボックスの横の「×」ですべての表示に切り替わります

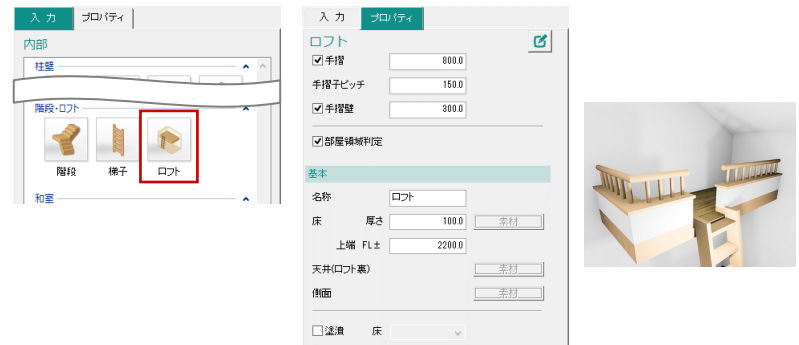
※「分類」が「サッシ>サッシ・勝手口」の場合は、「製品」の指定が必要です。



ロフトコマンドを追加

ロフトコマンドを追加しました。

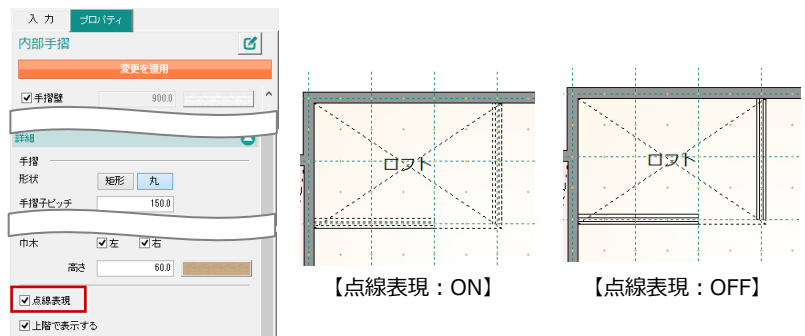
ロフトの表現が簡単にできるようになりました。



手摺シンボルの拡張

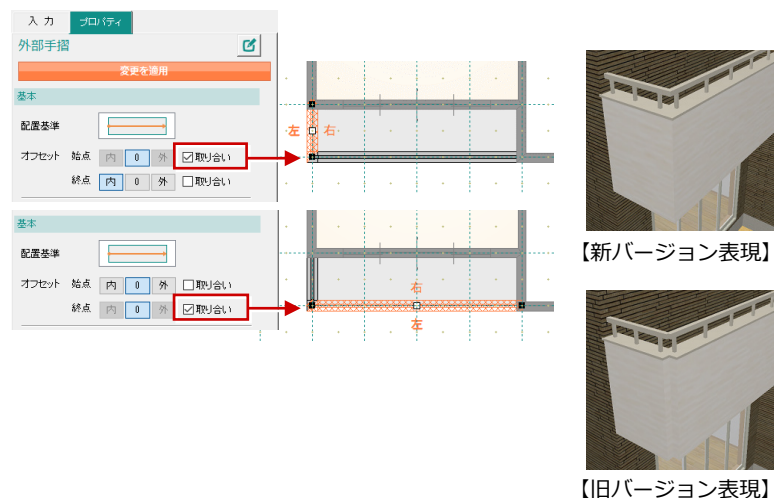
次の機能を追加しました。

- ・手摺シンボルの点線表現ができるようになりました。



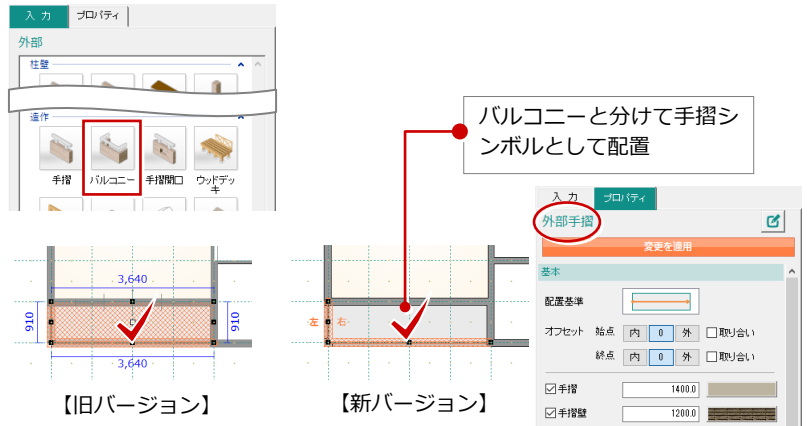
- ・コーナーで分割した場合に、取り合いが表現できるように「プロパティ」に「取り合い」の設定を設けました。

手摺壁の素材の張り分けが可能になります。



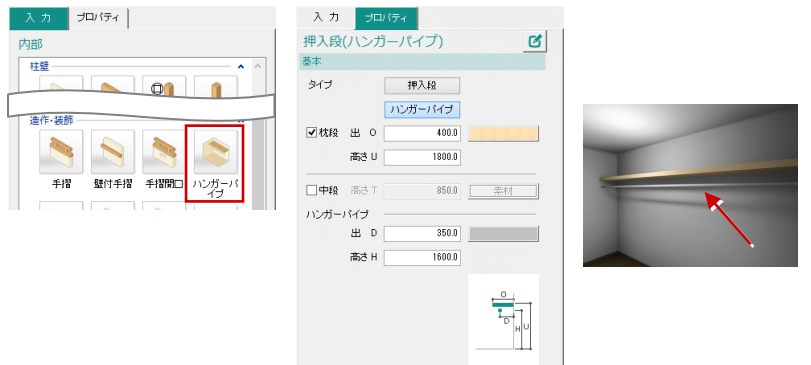
バルコニー手摺のシンボル配置に対応

バルコニーと一体化していた手摺を入力時に手摺シンボルとして配置できるように対応しました。
 これにより、手摺壁の分割など編集ができるようになり素材の張り分けや高さの調整が可能になります。



ハンガーパイプコマンドを追加

ハンガーパイプコマンドを追加しました。
 これまで「押入段」コマンドに内包されていましたが、コマンドを追加したことで見つけやすくなります。



ロフトの数量が拾えるように対応

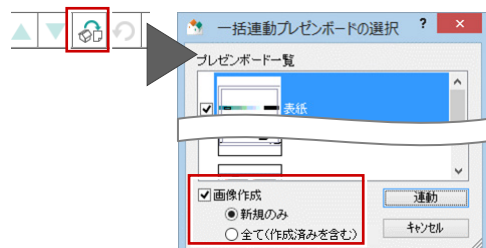
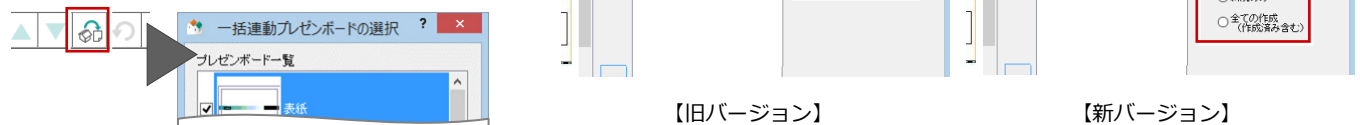
ロフトの数量を拾うことができるように対応しました。面積や個所数を拾うことができます。



既存画像の再作成に対応

「一括プレゼンボード作成」で、新規に追加された画像のみ再作成をおこなっていましたが、作成済みの画像についても再作成がおこなえるように対応しました。

※「一括連動プレゼンボードの選択」においても同様です。



プレゼンボード 50 枚まで作成可能

これまで最大枚数は 10 枚でしたが 50 枚まで作成できるように対応しました。
より多くのプレゼンボードを作成できるようになります。

※「入力」パネルの表示も変更になり、作成中のプレゼンボードが表示されるようになりました。



旧バージョンでは、テンプレートが一覧表示

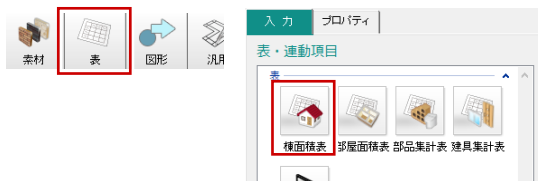


棟面積表に施工床面積を表示

棟面積表に施工床面積表を表示できるように対応しました。
プランデータ画面の面積判定で施工加算面積を入力することで、プレゼンボードの施工床面積が表示できます。



【プランデータ画面】



文字編集

| 面積[m²(坪)] | |
|-----------|-----------------|
| 敷地面積 | 166.86 (50.48) |
| 建築面積 | 58.38 (17.66) |
| 1階床面積 | 58.38 (17.66) |
| 2階床面積 | 49.68 (15.03) |
| 延床面積 | 108.06 (32.69) |
| 施工床面積 | 138.06 (41.76) |

施工床面積表示

棟面積表

| | 面積[m(坪)] |
|-------|-----------------|
| 敷地面積 | 166.86 (50.48) |
| 建築面積 | 58.38 (17.66) |
| 1階床面積 | 58.38 (17.66) |
| 2階床面積 | 49.68 (15.03) |
| 延床面積 | 108.06 (32.69) |
| 施工床面積 | 138.06 (41.76) |

【プレゼンボード画面】